

`目指せ!脱炭素社会

ー今ウワサの「**3KARA**」って何!?-









地球温暖化は待ってくれない

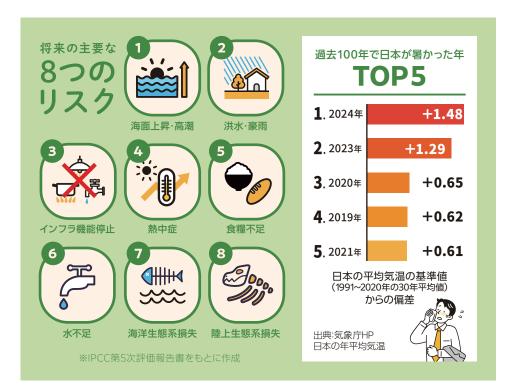
「気候変動は、今や気候危機の時代」

① 世界は1.5℃を抑えるために動いている

- ・地球温暖化対策は、SDGsに強く関連し、社会・経済は、自然環境に支えられています。
- ・世界の平均気温は、産業革命前から既に1.1℃上昇しており、地球温暖化の被害を軽減するには、気温上昇を1.5℃に抑えることが世界共通の目標となっています。
 「COP21 パリ協定、COP26 グラスゴー気候合意〕

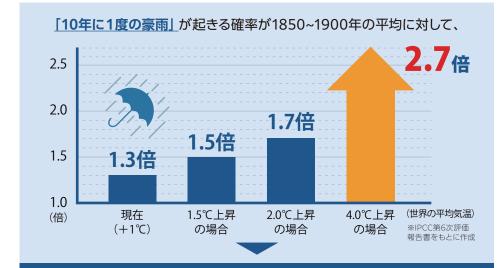
2 地球温暖化の影響

- ・既に、過去には見られなかったような大雨や猛暑などの気象現象が激化・頻発し、 様々な被害がおきています。
- ・いわき市の平均気温は過去100年で約1.7℃上昇しています。「気象庁データ」



3 科学者からの警告 [IPCC 第6次評価報告書、1.5℃特別報告書]

- ・人間活動が地球温暖化の原因であることは、疑う余地がない。
- 気温上昇を1.5℃、2.0℃、4.0℃で比較した場合、気象への影響が大きく異なる。
- ・気温上昇が2.0℃を境に、被害が大きく異なるため、1.5℃に抑える必要がある。
- ・何も対策をしない場合、2000年のころと比べて2100年には気温が4.8℃も上がってしまうと予測される(いわき市の平均気温が現在の九州地方と同じ)。



このままでは「10年に1度の豪雨」が 3年に1回に!

・現在の各国が掲げているCO2削減にむけた取り組みを全て実行した場合でも、2030年には気温が「1.5℃以上 |上昇してしまう可能性が示されている。



大雨被害・洪水 (出典:JCCCAのウェブサイト) 写真提供:埼玉県地球温暖化防止活動推進員



氷河の融解による海水面上昇 (出典: JCCCAのウェブサイト)写真提供: 2002年元旦アルゼンチンにて



干ばつ (出典:JCCCAのウェブサイト) 写真提供:緑のサヘル ブルキナファソ

2



気温上昇を1.5°Cに抑えるために

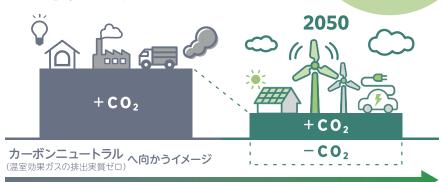
「世界ではカーボンニュートラルへの挑戦が始まっている」

1 カーボンニュートラルを達成し、脱炭素社会へ

- ・地球温暖化の原因となる二酸化炭素(CO₂)などの 温室効果ガスを社会全体として排出していないカーボン ニュートラルな社会を「脱炭素社会」と言います。
- ・「社会全体として排出していない」というのは、二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの「排出量」から、森林等による「吸収量」を差し引いて、実質的にゼロにすることを意味しています。

温室効果ガス排出削減目標 (2013年度比)

国	2030年	▲ 46%
	2050年	実質ゼロ
いわ	2030年	▲50% (目標は県と同じ)
き市	2050年	実質ゼロ



2 いわきのカーボンニュートラルへの挑戦!

いわき市カーボンニュートラル宣言

令和4年11月に、市域のカーボンニュートラル 推進を目的とする「市脱炭素社会推進パート ナーシップ会議」を官民で設立し、2050年 までに脱炭素社会の実現を目指すことを表明 する『いわき市カーボンニュートラル宣言』を、 未来を担う小中学生とともに行いました。



持続可能な社会の構築

環境と社会・経済の好循環

ふるさとを未来につなぐ

いわき市脱炭素社会実現プラン

市においても、2050年までに脱炭素社会の実現を目指すため、 具体的な行動計画として、「市脱炭素社会実現プラン」を策定しました。

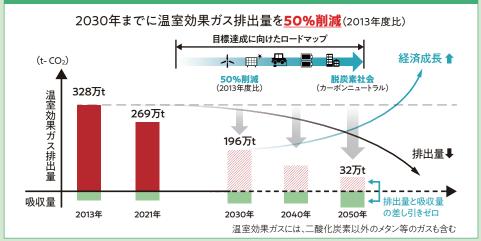
詳しくは、「市脱炭素社会実現プラン」ホームページへ▶



2050年のゴール

市内全体からの温室効果ガス排出量の実質ゼロを目指す

2030年に向けた目標



5つの基本方針

1. エネルギー



災害時に強い分散 型エネルギーの推 進にもつながる、 次世代エネルギー の積極的な導入に 取り組みます。

2. くらし

徹底した<mark>省エネルギーと資源の循環</mark>を推進し、環境への 負荷を軽減します。

3. 自然

CO2吸収、自然災害 の防災・減災、生物 多様性の保全の観点 から、さらなる都市 の緑化や森林の保 全・整備に取り組み ます。

4. 産業



産学官金が連携・協働し、脱炭素に変革を目指すグリーントランスフォーメーション(GX)を留ります。

5. わたしたち



環境について学び・知り、脱炭素化に向けた意識を社会全体で共有し、自主的に行動します。また、行政・事業者・関係団体等が、連携・協働して、脱炭連社会を担う人づくりにも取り組みます。

3



カーボンニュートラルに向けた取り組み



省エネルギー 対策

CO₂排出削減のためには、まずは、 省エネの推進が必要です。

例)省エネ家電への更新 適切なエアコンの温度設定 照明のLED化など



再生可能 エネルギーの 普及拡大

使用する電気を石油、石炭などの 化石燃料由来のものから、CO₂を排出 しない再生可能エネルギーへの転換 を進めます。



電動化

再エネで発電した電力を活用するには、動力源を電気に切り替えることが有効です。例えば、電気自動車を再エネ由来の電気で動かせば、CO₂排出量がないゼロカーボン・ドライブが可能となります。



二酸化炭素の 吸収源対策

植物には、光合成により、大気中からCO2を吸収するという重要な働きがあります。

森林を適切に保全管理し、CO2の吸収力を維持・向上していく必要があります。

用語解説

***1 ZEB**

(ネット・ゼロエネルギー・ビルディング)

エネルギー負荷の抑制や自然エネルギーの 積極的な活用、高効率な設備システムの導入等 により、室内環境の質を維持しつつ大幅な省エネ ルギー化を実現した上で、再生可能エネルギー を導入することにより、年間の一次エネルギー 消費量の収支をゼロとすることを目指した建築物。

***2 BEMS**

(ビルエネルギーマネジメントシステム)

オフィスビルでのエネルギー使用状況を、専用のモニターやパソコン、スマートフォン等に表示することにより、空調や照明等を制御するエネルギー管理システム。

※3 スマート農業

ロボット技術や情報通信技術(ICT)を活用して、省力化・精密化や高品質生産を実現する等を推進している新たな農業。

※4 カーボンニュートラルポート

産業や港湾の競争力強化と脱炭素社会の実現のため、脱炭素化に配慮した港湾機能の高度化や水素等の受入環境の整備等を図った港湾。

*5 スマートムーブ

普段から利用している様々な移動手段を工夫してCO2排出量を削減しようという取り組み。

ZEH (ネット・ゼロエネルギー・ハウス)

外皮の断熱性能等を大幅に向上させるとともに、高効率な設備システムの導入により、 室内環境の質を維持しつつ大幅な省エネルギーを実現した上で、再生可能エネルギーを 導入することにより、年間の一次エネルギー 消費量の収支がゼロとすることを目指した住宅。

HEMS

(ホームエネルギーマネジメントシステム)

家庭でのエネルギー使用状況を、専用の モニターやパソコン、スマートフォン等に表示する ことにより、家庭における快適性や省エネル ギーを支援するシステムで、空調や照明、家電 製品等の最適な運用を促すもの。

ゼロカーボンアクション30を3KARAで始めよう!



「ゼロカーボンアクション30」って具体的にどんなこと?

環境にやさしいライフスタイルに変える必要があります

「ゼロカーボンアクション30」をできるところから取り組んでみましょう!

エネルギーを節約・転換しよう!

- 11 再エネ電気への切り替え
- 2 クールビズ・ウォームビズ
- 3 節電
- 4 節水
- 5 省エネ家電の導入
- 6 宅配サービスをできるだけ一回で 受け取ろう
- 7 消費エネルギーの見える化

太陽光パネル付き・省エネ住宅に住もう!

- 8 太陽光パネルの設置
- 9 ZEH(ゼッチ)
- 10 省エネリフォーム窓や壁等の断熱リフォーム
- 蓄電池(車載の蓄電池)・ 省エネ給湯器の導入・設置
- 12 暮らしに木を取り入れる
- 13 分譲も賃貸も省エネ物件を選択
- 14 働き方の工夫

CO2の少ない交通手段を選ぼう!

- 15 スマートムーブ
- 16 ゼロカーボン・ドライブ

※ゼロカーボンドライブ …再生可能エネルギーを使って発電した 電力と電気自動車等を活用、走行時の CO2排出量がゼロとなるドライブ。

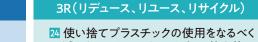


食品ロスをなくそう!

- Ⅲ 食事を食べ残さない
- ◎ 食材の買い物や保存等での 食品ロス削減の工夫
- 19 旬の食材、地元の食材でつくった 菜食を取り入れた健康な食生活
- 20 自宅でコンポスト

サステナブルなファッションを!

- 21 今持っている服を長く大切に着る
- 22 長く着られる服をじっくり選ぶ
- 23 環境に配慮した服を選ぶ



- 減らす。マイバッグ、マイボトル等を使う 25 修理や修繕をする
- 26 フリマ・シェアリング
- 27 ゴミの分別処理



CO2の少ない製品・サービス等を選ぼう!

- 28 脱炭素型の製品・サービスの選択
- 29 個人のESG投資

環境保全活動に積極的に参加しよう!

30 植林やゴミ拾い等の活動



7

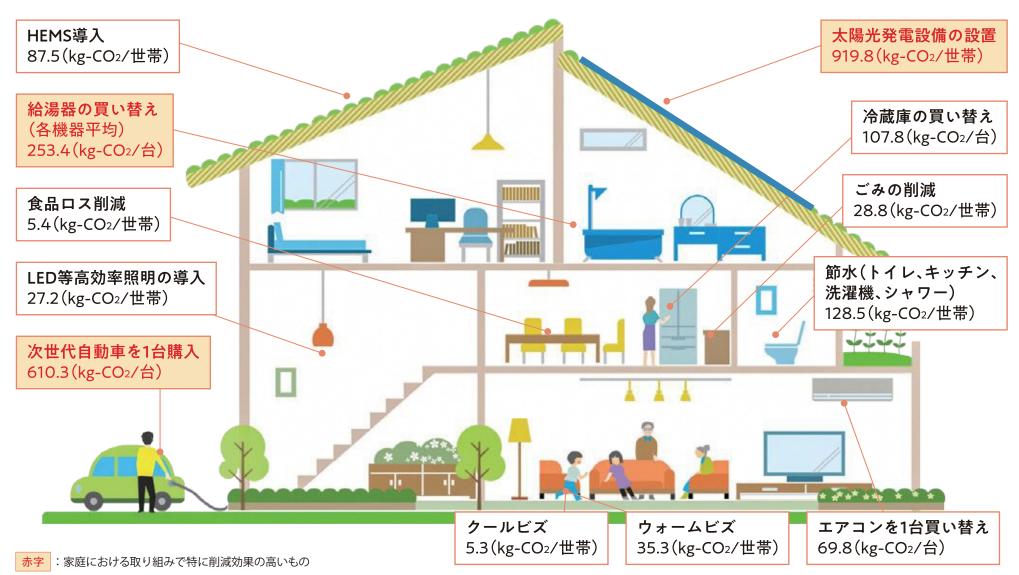
脱炭素社会を実現しましょう!!



家庭でできる温室効果ガス削減の取り組み(例)

図中の対策を全て実施した場合の削減量: 3,114.1 (kg-CO₂/世帯・年)

【参考】本市における2030年度民生家庭部門の削減量目標: 429千 t -CO2 (市内約14万世帯で上記削減量の達成が必要)



資料:脱炭素社会づくりに貢献する製品で一歩先の賢い選択! (環境省 COOL CHOICE事務局) (https://ondankataisaku.env.go.jp/coolchoice/kaikae/) に市が追記

y

さらに詳しく学べる動画・ホームページ

/

動画

2050年 カーボンニュートラル どうやって実現する?

出典:経済産業省



▶ YouTubeで公開中!

丸わかり! 再生可能エネルギー

出典:環境省







■ ホームページ



くらしの中のエコろがけ







- デ 電気も省エネ断熱住宅
- こだわる楽しさエコグッズ
- カ 感謝の心食べ残しゼロ
- つながるオフィステレワーク







出典:環境省

いわき市 生活環境部 環境企画課

〒970-8686 福島県いわき市平字梅本21番地

TEL: 0246-22-7528 Email: kankyokikaku@city.iwaki.lg.jp 市ホームページ:

https://www.city.iwaki.lg.jp/



カーボンニュートラル・シンボルマーク

2050年脱炭素社会の実現に向けた想いを共有し、ゼロカーボンアクションにつなげていくため、オリジナルのシンボルマークを作成。(全国公募)

